実習　　火成岩，たい積岩の性質を見分ける

目的　　岩石には，マグマからできた石や，水の作用でできた石があることを知る。また，身の回りの土地のつくりや身近な石を調べる方法を紹介する。

準備　　岩石試料（かこう岩などの火成岩，砂岩などのたい積岩），木工用ボンド（両面テープ），台紙，フロッピーケース，ルーペ

図１　岩石試料

A　仲間分けを行う

方法

1　各岩石試料（図１）の手触りを調べ，ルーペを用いて岩石をつくっている粒の大きさや形を観察する。

2　各岩石試料を手触り，色，粒の大きさなどからグループ分けをする。

B　岩石に命名する

方法

1　火成岩（かこう岩や安山岩）とたい積岩（泥岩や砂岩）を１つずつ持ち，手触り，色，粒の大きさを調べる（図２）。

2　方法１の結果から火成岩，たい積岩に，名前をつけてみる。
例：灰色キラキラ石…火成岩（安山岩），
　　灰色ざらざら石…たい積（砂岩）等。

3　名前を付けた後で，火成岩とたい積岩のそれぞれの特徴を見いだし，特徴について話し合う。

4　「キラキラが火成岩である」という観点から，岩石試料を火成岩，たい積岩，その他の石に分けてみる（図３）。

図２　火成岩（左）とたい積岩（右）

図３　キラキラという観点で分類する

C　岩石標本をつくる

台紙に各岩石試料を木工用ボンドで貼り付け，火成岩やたい積岩の標本を作製し，フロッピーケースに入れる（図４，５）。

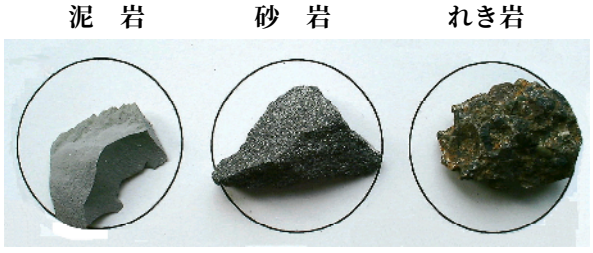

図４　たい積岩の標本

図５　火成岩とたい積岩の標本

北海道立教育研究所附属理科教育センター